

ノリ情報 (7号)

山口県水産研究センター 内海研究部

平成16年12月16日

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は15日に下関で10～11℃、宇部13～15℃、防府15～16℃、秋穂13.1℃と平年より高めに推移しています。降水量は12月上旬が60mm(平年の360%)とまとまった降雨があり、シケ模様となりました。

(2) 栄養塩

12月15日の調査では、DINは下関地区で126ガンマありましたが、新宇部地区は53.9ガンマと低め、藤曲浦地区21～26ガンマ、宇部岬地区では西漁場8.2～19ガンマ、東漁場9.3～25ガンマ、防府地区23～24.9ガンマと前回調査時に比べかなり低い値となっています。

PO4-Pは下関7.7～8.9ガンマ、宇部地区6.8～15.8ガンマ、防府地区9.3～11ガンマといづれの地区においても平年より低くなっています。

2 養殖状況

全漁場においてアカグサレの感染が確認され、蔓延の様相を呈しています。王喜地区ではアカと疑似シログサレ症が併発し、変色部が肉眼視できる状態で一部製品にも影響がでています。宇部岬地区では栄養塩の減少から色落ち傾向となっています。また、アカの感染に加えてリクモホーラ、ポド(ハリヤマ)の付着が激しくドタグサレの状況となり、一部成育が不良の状態となっています。防府地区においても全体的な色落ち傾向に加えてドタグサレとアカの感染が見られ、一部葉体には疑似シログサレの兆候も見られます。アカは泳ぐ胞子(遊走子)で伝染し、温暖無風、低比重で伝染がひどくなりますが、干出・凍結に弱く、酸処理のほか、一週間程度の短期冷凍処理で菌を殺すのが効果的です。リクモ等の付着も激しくなっています。早めの摘採と適正処理に心がけてください。

《12月15日・16日の調査結果》

地点	アカグサレ	付着物	その他
王喜(九州委託網) " (野)	3	リクモ 1	疑似シロ

アカグサレ

1 軽微 ←.....→ 3重症

外採苗網①)	3	リクモ 1	疑似シロ	付着物 1 少ない←……→ 3多い
// (野外採苗網②)	3	リクモ 1	アカ球嚢多数	
宇部岬	1	リクモ 3	液胞60%(色落ち)	
中関	—	リクモ 2	液胞70%(色落ち)	
向島①	2	リクモ 2	疑似シロ、液胞50%(色落ち)	
向島②	1	リクモ 2	液胞30%(色落ち傾向)	

3 共販状況(12月9日第1回共販結果)

地区名		下 関	小野田	宇 部	防 府	合 計
共販枚数 (万枚)	H16	11	117	699	34	861
	H15	20	59	555	31	665
共販金額 (万円)	H16	95	1,457	7,047	169	8,768
	H15	264	825	7,713	420	9,222
平均単価 (円)	H16	8.6	12.4	10.1	4.9	10.1
	H15	13.2	13.9	13.9	13.5	13.9